

参考 行政サービスの充実をめざして

北九州市の先進的な施策・充実した施策

これからもさまざまな分野でサービスの向上に努力していきます。



環境・産業・経済

● 環境モデル都市に選定

北九州市は、地球温暖化防止のために低炭素社会づくりを先駆的に進める国の「環境モデル都市」に選定されました。CO₂の大幅削減による地球温暖化問題の解決、豊かな暮らしや経済など都市活力の増大、アジアの低炭素化の推進により、いい未来を拓いていきます。

● 北京環境交易所と覚書を締結

北九州市は平成23年8月、中国・北京環境交易所と覚書を締結しました。北京環境交易所は、北京市政府が認定した機関であり、中国国内での環境技術の取引や汚染物質排出権取引などの橋渡し役を務めています。今後、環境技術の交流など低炭素社会の実現に向けて協力していきます。



平成21年12月26日 中華人民共和国 習近平 国家副主席、環境先進地である北九州市を視察。

● 海外水ビジネスの推進

北九州市は、これまでの国際技術協力の実績やその過程で培ったアジア諸都市とのフレンドリーな人的ネットワーク、ものづくりのまちとしての技術力などの強みを活かして海外水ビジネスを推進します。



『ウォータープラザ北九州』において

海外事業化に向けた実証研究や技術開発を進めるとともに、『北九州市海外水ビジネス推進協議会』を中心としてビジネス案件の獲得に向けて官民が一体となって取り組んでいきます。

● 東アジア経済交流推進機構

北九州市が提唱した「環黄海経済圏構想」をもとに、黄海に面する日中韓3カ国10都市の行政と経済界（商工会議所）が一体となって、平成16年に「東アジア経済交流推進機構」を設立し、市が事務局を務めています。平成23年度は東アジア都市協力フォーラム（副市長会議）が北九州市で開催されます。

安全・安心

● 道路・公園照明のLED化の推進

北九州市では、「北九州グリーンフロンティアプラン」にもとづき、低炭素社会づくりに向けた様々な取り組みを行っています。

その取り組みの一環である「LED照明の導入」を図るため、平成23年度から小倉都心・黒崎副都心を中心LED道路照明を本格導入し、15年後にLED化率100%を目指します。また、公園照明は、再整備する公園や新設公園を中心に、LED化を図っていきます。

● 救急搬送体制の充実・強化

救急隊員への教育訓練や医療機関との連携を図ることで、迅速な搬送体制の維持に努めています。そのため、救急車の出動から病院到着までの時間は大都市の中では最も早いものとなっています。

また、救命率の向上のための認定救急救命士の養成や近くの消防車が救急出動する「あかきゅう」を運用しており、消防車全台(36台)にAEDを積載しています。

暮らし・健康

● 「赤ちゃんの駅」登録事業

外出中に授乳やオムツ替えなどで立ち寄ることができるような施設を「赤ちゃんの駅」として登録するものです。公共施設だけでなく、民間事業者と協力して事業を進め、市内330施設（平成23年6月1日時点）を登録しています。



● 『子ども・若者応援センター「YELL(エール)」』の機能強化

不安定な雇用やニート(若年無業者)、不登校やひきこもりなど、さまざまな悩みや課題を抱える子どもや若者を総合的にサポートあるいはコーディネートしていく総合相談窓口として、『子ども・若者応援センター「YELL」』を22年10月に開設しました。23年度は、相談体制及びコーディネート機能の充実を図ります。



● 保育所保育士の加配

1歳児6人に対して保育士1人を配置する国の基準を、本市独自の加配として、平成23年7月から5人に対して1人に拡充し、質の高い保育サービスを提供しています。

文化・スポーツ

● 北九州フィルム・コミッション

北九州市では、日本で最も早く(平成元年)から映画やテレビドラマ、旅番組などの撮影誘致・支援事業に取り組んできました。平成12年には、この活動をさらに強化するため、フィルム・コミッション組織を設立するなど、映像を通じた本市のイメージアップに積極的に取り組んでいます。(誘致した例)「海猿」、「デスノート」、「東京タワー」、「K-20 怪人二十面相・伝」、「おっぱいバレー」など

● 北九州チャンピオンズカップ 国際車椅子バスケットボール大会

平成14年に北九州市で開催された世界車椅子バスケットボール選手権大会「北九州ゴールドカップ」を記念して毎年開催している大会です。世界各地のクラブチャンピオンチームを招待して行う、世界で唯一の車椅子バスケットボールクラブチーム世界一決定戦です。



北九州市の最近の受賞歴等

● OECD「グリーン成長モデル都市」に選定

北九州市は平成23年7月、環境に負荷をかけず経済成長を実現させる「グリーン成長モデル都市」に経済協力開発機構(OECD)より選定されました。アジアで初であり、パリ、シカゴ、ストックホルムに続き4都市目となります。

● 「次世代育成環境ランキング」6年連続で政令市上位にランクイン

「NPO法人エガリテ大手前」主催の標記ランキングにおいて、出産環境、乳幼児保育、児童福祉など、幅広い観点から次世代育成に優れた環境を提供している都市として、平成17年～平成21年度は政令市第1位を、平成22年度は2位を獲得しました。

● 「産業観光まちづくり大賞」で金賞を受賞

北九州市は、産業観光による観光まちづくりを実践し、他の地域の模範となる優れた事例を表彰する「第3回産業観光まちづくり大賞」(日本観光協会主催)で、最高賞の金賞を受賞しました。工場見学等の受入事業者と良好な関係維持に努力している点、産業と環境との共生・調和を1つの観光資源として修学旅行誘致などに積極的に取り組んでいる点などが評価されました。

● 「人権啓発資料法務大臣表彰」最優秀賞(平成22年度)

北九州市が平成21年度に制作した人権啓発アニメーション「ボクとガク あの夏のものごと」が、全国の地方公共団体が作成した人権啓発資料1,508点の中から、最優秀賞を受賞しました。